

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドウィッシュみやまち		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 20日		～ 令和8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 4名	(回答者数) 3名	
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 20日		～ 令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数) 6名	
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者様からの満足度が高い水準であることが強みであると考えます。	保護者様への丁寧な説明や、日頃のコミュニケーションを大切にしており、情報共有や相互理解に努めています。 ・計画的に懇談や家庭訪問を実施し、ご要望やお困りごとをお伺いしながら、保護者と一緒に解決に向けて取り組んでいくという誠意を持った対応を心掛けています。	・保護者会を定期的に開催し、お子様と一緒に楽しめるようなイベントや研修会を開催していきたいと思います。
2	・子供たちが将来を見据えた長期的な課題に取り組めるよう療育を提供している。	・療育内容を5領域の観点にて意識して計画を作成をしている。バランスや認知など様々な取り組みを行い、子供達も楽しみながら参加できる療育を提供できるよう心がけています。	・他事業所の見学や研修を受講し、より療育内容を充実できるようにしていきたいと思います。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所内での療育が中心で、地域の人たちとの交流が少ないところが弱みであると考えます。	・他事業所の活動、地域行事などの情報収集不足が原因であると考えます。	・地域の集まりなどに参加し、地域との連携を図る体制を整える必要がある。
2			
3			